

生活・経済守ろう

連携を確認

安倍自公政権に厳しい審判を下した沖繩のたたかいに続いて、北の大地、北海道旭川市長選（11月11日）で自公候補を大差で破った西川将人市長を、日本共産党も参加する「明るい旭川の会」が28日に訪問し、市民要望の実現などでなごやかに懇談しました。



西川市長（右から2人目）と懇談する「明るい会」役員ら11月28日、北海道旭川市

北海道「明るい会」、旭川市長と懇談

「明るい会」の役員らで、日本共産党旭川地区委員会から石田尚利委員長、橋場輝光副委員長、能登谷繁市議団長が出席しました。守屋敬義代表委員は「当選おめでとうございます。憲法が定める地方自治の本旨を生かした市政運営をめざしてほしい」とあいさつしました。

西川市長は「4期目を迎えさせていただき、市長として一生懸命頑張っています。『明るい会』の役員らで、日本共産党旭川地区委員会から石田尚利委員長、橋場輝光副委員長、能登谷繁市議団長が出席しました。守屋敬義代表委員は「当選おめでとうございます。憲法が定める地方自治の本旨を生かした市政運営をめざしてほしい」とあいさつしました。

西川市長は「4期目を迎えさせていただき、市長として一生懸命頑張っています。『明るい会』の役員らで、日本共産党旭川地区委員会から石田尚利委員長、橋場輝光副委員長、能登谷繁市議団長が出席しました。守屋敬義代表委員は「当選おめでとうございます。憲法が定める地方自治の本旨を生かした市政運営をめざしてほしい」とあいさつしました。

公契約条例の検証、無料低額診療事業の助成拡充、介護人材不足の解消などについて、意見を交換しました。

市民のくらしや地元経済を守るため、市民運動と連携したとりくみの必要性や、今後定期的な懇談していくことを確認しました。

会の構成団体、旭川民主商工会、新日本婦人の会旭川支部、道北勤労者医療協会、旭川労働組合総連合、日本共産党地区委員会の各代表からは、子ども医療費の助成拡充を全国課題にしていくことや、中小企業支援の充実、